

入曽地区中学校統廃合説明会報告

【対象：南小学校保護者】

- 1 開催日時
平成 24 年 9 月 14 日（金） 10 時～12 時 20 分
- 2 開催場所
南小学校 3 階視聴覚室
- 3 参加人数
43 人
- 4 市職員（計 5 名）
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長
- 5 配布資料
 - ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について
 - ◆ 入曽地区の中学校を取り巻く状況
 - ◆ 統廃合に伴う学区の見直し案
 - ◆ 対照表

——— 主な質疑応答及び意見要望 ———

統廃合検討協議会・部会に関すること

Q なぜ入間中が統廃合の対象になったのか。

A 老朽化や校庭の狭さなど諸々の条件を踏まえたうえで、検討協議会の中で決めさせていただきました。

Q 学区に関すること以外の意見も言える検討協議会は、いつ開かれるのか。

A 部会協議の途中経過の報告も必要かと思しますので、11 月頃には開きたいと思っています。

Q 部会における南小のPTA会長の発言は、それが数人の意見をまとめただけのものであったとしても、南小全体の意見となってしまうのか。

A どういう形で意見を集約して発言されているかまでは把握していませんが、いろいろな意見がある中で、PTA会長さんなりに考えて意見を述べられているものと認識しています。

- ◆ 入間中をなくすと通学距離が長くなるのに、その学校が統廃合の対象になるのは理解できない。
- ◆ これだけ反対の声があるということを、検討協議会の委員にしっかり伝えてほしい。

耐震に関すること

Q 国が方針を掲げている学校の耐震化は、必ず平成 27 年度までに完了させなければならないものなのか。

A それ以降の工事にかかる費用に対しては補助金が見つからないということです。

- ◆ 平成 27 年度までの耐震化が強制でないのであれば、無理にその時期に合わせて入間中を廃校にする必要はない。
- ◆ 耐震工事をしないのは人命軽視だ。
- ◆ 耐震工事を先送りにした時点で入間中廃校の方針は決まっていたはずで、教育委員会の説明は言い訳にしか聞こえない。
- ◆ 耐震工事にかける予算がないから入間中を廃校にさせてくださいと、教育委員会のはっきり言えばいい。
- ◆ いずれにしろ入間中は耐震性が十分でないのだから、いつ起こるかかわからない地震に備え、学校における生徒たちへの安全指導は徹底してほしい。

学区・通学路に関すること

Q 現状でも 40 分かけて南小に通っている子どもがいるにもかかわらず、山王中や入間野中に通うとなると、もっと時間がかかるということをわかっているのか。

A 学区部会の委員の皆様にも実際に歩いていただき、その上で学区を決めてもらう予定です。

- ◆ 部会の委員が通学路を歩く際には、子どもたちと同じように実際に重たい荷物を持った状態で歩いてほしい。
- ◆ 山王中まで 5 km 以上ある道のりなんか歩けるわけないと子どもは言っている。
- ◆ 南小学校区でも新築の家は増えているし、なぜ遠い中学校に通わせなければならないのかという思いはあるはず。
- ◆ 学区の見直し案を検討するにあたっては、南小だけでなく御狩場小などとも一緒に話し合える機会があってもいい。

統合の時期に関すること

Q 来年卒業予定の小学 6 年生は、入間中に入学した後でなければ、中学何年生の時に学校が変わるか分からないということか。

A 統合の時期につきましては、決まり次第、保護者の皆様にお知らせします。

Q 統廃合は、いつまでにするつもりなのか。

A 遅くとも平成 28 年までには統合したいと考えています。

Q 耐震と統廃合は関係ないというのであれば、平成 27 年などといった時期については、とりあえず撤回してほしい。

A 耐震と統廃合は全く関係ないということではありません。統合の時期は、耐震化の完了時期を考慮したうえで決めていきたいと考えています。

Q これだけの反対が出ていても、教育委員会は今までの方針を変えるつもりはないのか。まずは早急に耐震工事をして、例えば統合は 10 年先に延ばそうなどといった形は考えていないのか。

A 現状でも老朽化など教育環境の面で問題はあると認識していますので、平成 27 年、遅くとも平成 28 年には統合を目指す方針に変わりはありません。

- ◆ 統合する時期を早く決めてほしい。
- ◆ 学区を決める前に、まずは統合の時期を決める方が先だと思う。
- ◆ 子どもの数は増えているのだから、統合は平成 40 年くらいでもいい。

情報の周知に関すること

Q 学区部会の議事録などは教育委員会から配ってもらえないのか。

A ホームページに掲載していますので、極力そちらの方でご覧いただければと思っています。

Q 学区の見直し案は御狩場小の保護者にも周知されているのか。

A 御狩場小の P T A 会長さんも学区部会には出席しています。必要に応じて説明会等も開催したいと考えています。

二度統廃合を経験させることについて

Q 二度統廃合を経験させることについて、これだけの保護者が反対しているにもかかわらず、議会には何も報告されずじまいなのか。

A 入曽地区の議員の方々に対しましては、保護者の皆様のご意見や会議の内容等は逐一報告していますので、議論の材料になろうかと思われれます。

その他

Q 普通教室の数が足りなくて入間野中に入りきらない場合は、特別教室を転用することで対応するのか（統廃合に伴う学区の見直し③案）。また、そのことで子ども達の教育活動に不都合は生じないか。

A 教育活動に支障のない範囲で、特別教室を転用することにより対応したいと考えています。

Q 地区の真ん中に位置する入間中のある場所に、新しい校舎は建てられないのか。

A 既存の学校施設を活用することが基本方針の前提としてありますので、校舎を建て替える予定はありません。

Q 生徒の数が増えれば部活動が充実するというが、指定校に希望する部活動が設置されていない場合、自宅から最寄りの学校への就学が許可されているのだから、指定校に希望する部活動がなくても問題ないのではないか。

A 指定校の部活動を充実させて、ある程度選択肢があった方が、子ども達の教育環境にとっては良いと考えています。

Q 子ども達に意見は聴かないのか。

A 教育委員会としては、統廃合の議論の真ただ中に子ども達を巻き込みたくないという思いがあり、ある程度大人の側で責任をもって決めていくべきものと考えています。

Q 統廃合の議論に子どもを巻き込みたくないというが、大人の目線だけで勝手に決めないでほしいと考えている子どももいる。実際に学校に通うのは子どもであり、もう中学生なのだから、もっと子ども達の意見にも耳を傾けてほしい。

A 子ども達への意見聴取については、あらためて内部で検討したいと思います。

Q 入間中や南小の子ども達に直接、統廃合に関する賛成反対のアンケートを取る予定はあるか。

A 子ども達にそういったアンケートを取る予定はありません。

Q 保護者の意見は、どこまで反映されるのか。

A 皆様からいただいたご意見を参考に、今後の統廃合を進めていきたいと考えていますし、可能な限り計画に反映させていきたいと思っています。

Q 保護者の意見は誰が検討してくれるのか。

A 皆様からいただいたご意見につきましては、教育委員会内部で検討し、可能な限り回答していきたいと思っています。

Q 保護者が意見を言える窓口を早急に学校の中に設けてほしい。

A P T A会長さん等と相談したうえで検討したいと思います。

Q 保護者が反対すれば、入間中の廃校は覆るのか。

A 最終的な決定は議会の議決によるものです。

- ◆ もう統廃合は経験させたくないと訴えても、結局はここで入間中が廃校になるわけだから、保護者の意見は反映されないということだ。
- ◆ 中学校の統廃合は、子どもの将来にとって取り返しのつかないことになりかねないので慎重に進めてほしい。
- ◆ 入間中を存続させていくためのお金がないという説明の方が、子ども達にとってもわかりやすのではないか。
- ◆ 山王中や入間野中と違って入間中は生徒の数が増える見込みだし、位置的なことも考えれば、入間中のある場所に統合先の学校を置くべきだ。
- ◆ 老朽化などハード面だけで入間中の廃校を決めるとするのは、大人の目線であって、子どもの目線が欠けている。
- ◆ これだけ地域から反対の声が出ているのに、入間中の廃校に向けて話が進むこと自体理解できない。
- ◆ 市は子ども達のことより狭山市駅前の開発の方が大事というふうにしか思えないし、同じ税金を払っているのに不公平だ。
- ◆ 統廃合に反対する人の意見もわかるが、基本的に入間中廃校の方向性は変わらないと思うし、子どもの通学の安全確保が一番大事であるにもかかわらず、学区の見直し案についての議論が全く進まない今日の現状に正直不安を感じている。